

解答例

チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	年組番	問
六年 筆者のものの見方をとらえ 自分の考えをまとめよう 「鳥獣戯画を読む」	氏名	

教科書一三六ページから一三九ページまでを読んでから、次の問題に答えましょう

1 一三七ページの絵を見た筆者が、その絵の取り上げている部分を表しているところには、次の二つの傍線部があります。それぞれ何に着目しているのか、次の①～⑤の中から適切なものを選びましょう。

- (1) 「蛙が外掛け、すかさず兎は足をからめて返し技。」
(2) 「蛙が兎の耳をがぶりとかんだ。この反則技にたまらず兎は顔をそむけ、」
- ① 形 ② 大きさ ③ 色 ④ 格好 ⑤ 表情 ⑥ 気持ち

答え

(1)

④

(2)

⑤

2 (1)、(2)について、筆者が評価している表現を一三六ページの五行目から一三七ページの七行目までのの中から見つけて、書きぬきましょう。

墨一色、抑揚のある線と濃淡だけ、のびのびとした見事な筆運び、その気品。

こんなに人間くさいのに、何から何まで本物の生き物のまま。

さつきまで四本足で駆けたりとびはねたりしていた本当の兎や蛙たちが、今ひよいと立って遊び始めたのだとしか思えない。

3 一三八ページ「兎を投げ飛ばした蛙の口から線が出ているのに気がついたかな。いったいこれは何だろう。」で、この正体はなんだと作者は考えていますか。

気合いの声

解答例

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単元	年組番	問
六年 筆者のものの見方をとらえ自分の考えをまとめよう 「鳥獣戯画を読む」	氏名	

1 一三六ページから一四〇ページ十一行目を読んで、筆者と自分のものの見方を比べて、共通点、相違点を例のように書き出しましょう。相違点については、自分の見方まで、例のように書きましよう。

共通点
例「たまらず顔をそむけ」は、自分も同じように考える。(共通点)

相違点
例「和気あいあいとした遊び」とはちがうと考える。(相違点) なぜなら、気合いの声が出ているわけだから、遊びではなく真剣勝負のように見えるからだ。(自分の見方)

2 一四〇ページ九行目「それぞれが、どういう気分を表現しているのか、今度は君たちが考える番だ。」とある。次の点をふまえて、三匹の応援蛙について自分の考えをまとめよう。①どの蛙を取り上げるか。②取り上げた蛙の何に注目するか。③自分のどのような見方をしたか。

わたしは、上を向いて笑っている蛙について、自分なりに考えてみる。
その蛙は、口を開けて笑っているのがわかる。両方の手を上に挙げてばんざいをしているようにも見える。兔を投げ飛ばしたのがよほどうれしかったにちがいない。体全体で喜びを表現しているように感じられる。ずるして勝っても勝ちも勝ちである。おそらく、いつもは兔が勝っていたのだから、初めて、仲間の蛙が勝ったうれしさがこの絵から感じられる。